

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	運営推進会議において、災害時は孤立する可能性もあるが、どこにも避難せず、この場所に居ることが一番安全である。また避難場所になり得るとの結論になる。その為、マニュアルの見直しと対策が必要。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害に備えたマニュアルの見直しをして、全職員が周知する。</li> <li>・災害時に備えた対策を整える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マニュアルの作成。</li> <li>・備蓄品等の確認</li> <li>・婦人会で行っている炊き出しの講習会に参加して実践に備える。・自家発電の使用方法を全職員が把握するよう手順確認をする。</li> </ul>	6か月
2	6	身体拘束をしないケアの実践より、玄関の鍵は夜間のみとしているが、入居者の入れ替わりにより、帰宅願望等から徘徊が頻繁な入居者がいる。その為、危険な場合のみ、日中でも鍵をすることがある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・徘徊防止に努め、玄関の鍵は夜間以外しないようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・玄関にセンサーを設置する。</li> <li>・入居者の思いに寄り添った対応に努める。</li> </ul>	12か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。